

千葉支部総会・懇親会結果報告

報告者支部長高見史郎

遠路はるばる仙台の地から、また、ご多忙のなか、朴澤泰治朴沢学園理事長、霰田雅之同窓会理事・副会長をお招きし、令和6年11月9日午後3時から千葉市中央区内の札幌かに家千葉店において千葉支部総会及び懇親会を開催することができましたことをまこと嬉しく存じております。

また、この度、ご多忙のなか、市の消防局長にまで昇り詰めた方のご参加があり、二重の喜びを感じております。

支部総会及び懇親会は、会議形式と懇親会とを混合したような変則的次第で進めさせていただきました。

冒頭、朴澤理事長から「コロナ禍の5年の間にも新たな卒業生が巣立ち、千葉県においても各種職業に就いている。これらの同窓の活躍とともにその消息を微細に確認のうえ、同窓会の更なる拡大・発展に務めてもらい」とご教示がありました。

続いて同窓会露田理事から「大学の発展のため同窓会としてもしっかりとした構想の下、大学と学生の支援に向けて、同窓会としての新たな事業展開を行っていく」と力強いごあいさつがありました。

この席上、千葉支部の昨年度の事業及び会計報告を千葉支部の機関紙で、そして、同窓会本部の事業及び会計報告等については、同窓会資料（同窓会本部が作成）に基づいて、理事役員の改選、昨年度執行した収支決算、女子学生寮の運営と、これに伴う定款の改正など社員総会での決定事項についてそれぞれ報告しました。

引き続いての懇親会は、4期生を中心としたやや古い時代の参加者とはなりましたが、あれやこれやと昔話に花が咲き、短い時間ではありましたが大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

冒頭理事長のご挨拶のなかでご指摘のあった新たな卒業生と支部会員拡大に向けての課題は、支部としても既に織り込み済みで、住所の変遷等により正確な住所を掴むことが難しいなか、一同が手分けして、判る範囲で新たな卒業生とこれまでの未確認同窓に対して電話等の通信手段をもって所在確認を行うなど支部会員の拡大に向け努力することを支部総会閉会後に役員間で申し合わせました。そしてその結果に基づいて来年度の支部総会の開催にあたりたい所存です。

以上

追伸

欠席通知をいただいた中にも多くの建設的な意見を書き添えてくれる方があります。例えば、「若い世代の出席者が少ないように思うが出席者拡大に向け何か手を打たねばならないのではないか」、あるいは、「今年の夏、教え子がインターハイ新体操で団体優勝しました。卒業生も大学で活躍しています」、「何度も甲子園に出場した高校で野球部の監督をしています」など、楽しい返事（反応）がありましたので申し添えます。